

鎌倉街道上道(比企郡嵐山町)

かまくらかいどうかみつみち

正面に鎌倉街道(左手(鎌倉方面)から右手に延びる道)の石碑が立っている



帯刀先生源義賢の墓(五輪塔)もこの近くにある





鎌倉街道

御所ヶ谷戸大蔵下宿

大蔵村大蔵院

源義賢公
源義仲公
源義高公

本殿
入口

これは鎌倉方面(南方向)



ここを進むと「縁切橋」という小さな橋があった







正面の手すりの部分が小川に架かる橋で「縁切橋」とされる



振り返って反対側を見る



縁切り橋

征夷大将軍坂上田村麻呂が、軍勢を引き連れたこの地には、岩殿の悪龍退治の準備に忙殺されていた。そこで、將軍の奥方の京都から心配のあまり尋ねてきたという、しから坂上田村麻呂は「上の命令で、征夷大将軍として派遣されている我は、妻女を尋ねるとは何事だ逢わぬ」と大声でどなった。それから家業がいくらとりなしてもお許しかなかった。

翌朝、奥方は京へ帰る出発のためこの地へ来た。將軍は此の坂下まで来て、「大命を委けて出陣しているのに逢い来るとは何事だ、今より縁を切る。只々立ち去れ」と宣言したという。

それからこの橋は縁切り橋といわれている。徳川の時、この地の人には縁起をかついで、今でも新郎新婦を遠ざけることになっているという。

埼玉県

北方向を見る



最初の交差点に戻る



交差点を渡って更に北へ進んでみる



この辺りは中世の時代「大蔵宿」であった



少し進んだ左手に向徳寺がある



更に北へ進み、都幾川(槻川)を渡って振り返って「大蔵宿」方面を見る



西の方角を見る/この辺りが水上交通の船着場であったのかもしれない



東の方角を見る



参考ホームページ

<http://hva34.sakura.ne.jp/hikigunn/rannzannkamakurakaidou/rannzannkamakurakaidou.html>

<http://ja1klb.web.fc2.com/tabi/kaidou2/kamitumichi.html>

<http://ckk12850.exblog.jp/16819925/>

<http://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-vmh/kakuchi/ranzan01/ookura.html>

鎌倉街道上道



鎌倉街道上道